

まだまだあります! 子ども・子育て世代への取組

東海市は無料化・無償化以外にもたくさんの子育て施策を進めています

妊産婦



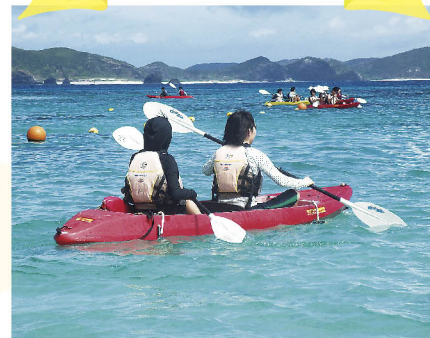
- 子育てアプリ
- 医療助成(不妊・妊婦・子ども)
- 子育て相談(オンライン、総合相談)
- 健診
- 出産・子育て応援事業、絵本等

乳幼児



- 多数の保育所
- 子育て支援センター
- 一時的保育
- 病児・病後児保育
- 幼児一時預かり等

小中学生



- 沖縄体験学習
- 放課後児童クラブ
- 子どものオーケストラ
- 児童合唱団
- 児童館等

みなさんが快適に暮らせるよう
進化を続けています!!



太田川駅西土地区画整理事業

大田インターチェンジ(仮称)や太田川駅に近接した広域交通体系を生かし、都市拠点・広域交流拠点としての多様な施設の集積を目指した都市基盤整備を行っています。



加木屋中部土地区画整理事業

加木屋中ノ池駅や病院、小中学校等に近接している立地特性を生かし、生活利便施設等の誘導や公共施設の集約化を図り、利便性の高い住環境の形成を目指した都市基盤整備を行っています。

アクセスがとっても便利!!

名古屋・金山など主要都市部へはもちろん、伊勢湾岸自動車道を利用して東京・大阪といった遠距離、中部国際空港を利用して国内・海外へのアクセスが便利です。

名古屋



名古屋から
車で
約20分



名古屋から
電車で
約17分

東海市

中部国際空港から
電車で
約20分



中部国際空港

TOKAI STORY

～ともにつながり 笑顔と希望あふれるまち とうかい～

東海市独自の
無料化・無償化

「住み続けたい」を
実現する
まちづくり

子どもの年齢に
応じた
各種支援策

第7次総合計画基準値アンケートで聞きました!
16歳以上の市民2,500人を対象(令和5年1月実施)

18歳以下の子どもを持つ人のうち
「子育てしやすいまちである」と
答えた人の割合

86.4%

18歳以下の子どもを持つ人のうち
「身近に子どもが安心して過ごせる場
(家庭や学校を除く)があると思う」と
答えた人の割合

74.9%



— 市公式LINE —



— 市公式X —

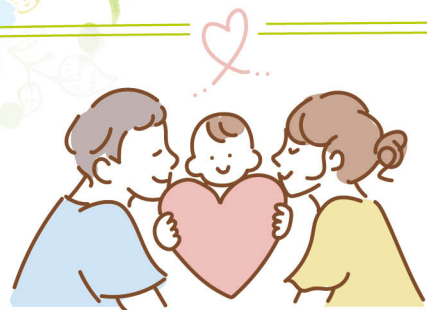


東海市広報課

〒476-8601 愛知県東海市中央町一丁目1番地
電話 0562-33-1111

発行:2024年0月

東海市は子ども・やパパ・ママへの支援が充実



子どもを授かり、育てていくことは人生の大きな喜びのひとつです。しかし、子どもを育てることは苦労や悩みも伴います。東海市ではそんな子育て世代を応援できるよう、たくさんの支援策を充実させています。ぜひ、東海市で暮らしてみませんか。

子どもの医療が充実

子どもが小さいときは、急な発熱やケガが起きるもの。市内には公立西知多総合病院を始め医療機関が充実しています。また、子どもの医療費助成も18歳到達の年度末までは入・通院費の自己負担(保険診療分)を助成しています。

子どもの遊び場が充実

東海市には親子で遊べる場所がいっぱい。保育士が常駐し、就学前のお子さんが遊ぶことができる子育て支援センターが市内に3か所、乳幼児親子から18歳まで遊ぶことができる児童館は市内になんと13か所。その他にも大小合わせて73の公園、70のちびっこ広場で遊ぶこともできます。

初めての子育てでも安心

初めての妊娠・出産は不安になることもあります。東海市では、妊娠届出の際にすべての妊婦さんに保健師や助産師が面接を行いサポートを開始します。妊娠中から産前産後、乳幼児期まで定期的な健診や相談事業を行い、安心して子育てができる体制をつくっています。児童館や子育て支援センターなどの親子のつどい場の充実、赤ちゃんの誕生をお祝いで、親子のふれあいを応援するため絵本もプレゼントしています。

住宅支援が充実

子育てにおける負担軽減等を目的として、3世代で同居または近居するため、住宅の新築、増築、住宅購入する方に補助金(3世代同居:80万円、3世代近居:30万円)を交付しています。

保育施設が充実

市内には18の市立保育園のほか、私立保育園、認定こども園、小規模保育事業等の保育施設や、私立幼稚園もあり、安心して子育てすることができます。子育て総合支援センター(総合・南部)や市立保育園では、保護者のリフレッシュや病気等の対応のため幼児一時預かりを実施しています。

ゴミ袋の無料配布

東海市ではゴミ袋を一定数量を各ご家庭に無料配布しています。小さいお子さんがいる家庭では紙おむつの処理として追加の無料配布を行っています。

新しい駅が開業 利便性が向上

令和6年3月に市内9駅目となる名鉄河和線の新駅「加木屋中ノ池駅(公立西知多総合病院前)」が開業し、公立西知多総合病院へのアクセスや利便性が向上しています。



東海市独自の無料化・無償化の取組

① 子ども医療費助成

18歳到達の年度末までの医療費(保険診療分)を全額助成しています。全国に先駆けて大学生等は入院費を全額助成します。
子育て家庭の医療費負担を軽減しています。

知多半島で
東海市のみ



② 第2子以降保育料及び副食費無償化

認可保育所(公立・私立)や、幼稚園(私立)に通う第2子以降の保育料及び副食費を無償化し
子育て家庭の保育・教育に関する負担軽減を実施しています。

年齢区分を問わず
保育料及び
副食費の無償化は、
知多半島で
東海市のみ

③ 放課後児童クラブ(公立)の小学校3年生まで利用料無料

就労などで放課後に保護者が家庭にいない児童を対象に、市内12小学校すべての学校内に放課後児童クラブを設置しています。
3年生までは利用料で、働くパパ・ママを応援します。

知多半島で
東海市のみ



④ 中学校2年生での沖縄体験学習における保護者負担ゼロ

沖縄での自然体験や平和教育を学ぶため、市内中学校2年生全員が沖縄での体験学習を実施しています。なんと、この体験学習は保護者の負担がありません。
子どもたちが学び、経験することを全力でサポートしています。

知多半島で
東海市のみ

⑤ ゴミ指定袋の無料配布

ごみ減量とリサイクル推進を目的として
ごみ指定袋を年間一定枚数無料で配布しています。
小さいお子さんがいるご家庭では、おむつ処理として更に一定枚数を追加で無料配布しています。

知多半島で
東海市のみ

